

◆ INDEX

- 病院敷地内全面禁煙のお願い
- 漢方外来を開設しました
- 肺炎予防接種について
- 災害派遣医療チームの結成
- 病院再開発の進捗状況
- 医療福祉相談のご案内
- 院外処方せんへのご協力お願い

【病院敷地内の全面禁煙にご協力をお願いします】

患者サービス向上委員会委員 山崎 勝治



本院は、平成18年12月1日から病院敷地内(駐車場の車内を含む。)を全面禁煙にしました。これに伴い、病院外来棟1階にあった喫煙コーナーを廃止するとともに、院内、駐車場等の建物外の表示をすべて「病院敷地内禁煙」に変更しました。

病院には、呼吸器疾患、心疾患やアレルギー疾患等のタバコの被害(影響)を強く受ける患者さまが数多く来院(在院)されています。このため、本院では平成15年9月1日から建物内の全面禁煙を実施しましたが、現在までに社会的環境は大きく変化しており、医療機関である本院は非喫煙者の方々の健康を守るべく附属病院敷地内の全面禁煙をスタートさせました。

病院敷地内の全面禁煙は、「患者サービス向上委員会」が中心となり、病院敷地内の喫煙場所調査、病院職員への禁煙実施通知と禁煙講習会の開催など、実施に向け種々の対策を実施しました。その後、患者さまのご理解を求めめるために病院敷地内全面禁煙の開始予告ポスターや「入院のしおり」への文書の挿入を行い、実施予告をさせていただきました。

病院敷地内全面禁煙を間近にひかえた11月27日には、医師、看護師等が、病院内でパンフレットを配り禁煙をアピールし、最後に外来ホールで禁煙サンバを披露する禁煙キャンペーンを行いました。



「禁煙サンバ」 オンステージ

約半年にわたる準備期間を経て病院敷地内を全面禁煙としましたが、この実績をもとに、現在自由診療で行っている「禁煙指導」が保険診療適用となるよう申請を行います。

禁煙を希望される患者さまに対し本院では「生活習慣病センター」において第2・4週火曜日に自由診療の範囲で「禁煙指導」を行ってきましたが、保険診療が認められれば患者さまへのご負担も軽減できるものと期待しています。

病院敷地内全面禁煙の趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしく申し上げます。

漢方外来を開設しました

総合診療部 非常勤講師(診療) 三谷 和男



私たち漢方外来の最大の特徴は、「未病^{みびょう}を治す^ち」ということです。滋賀医科大学附属病院という世界の最先端の治療を受けることが出来る環境の中での漢方診療は、決して西洋医学と相対するものではありません。むしろ、西洋医学的な手法を存分に活かす中で、漢方治療を受けていただくことが出来るわけです。

「漢方治療って、漢方薬を飲むことじゃないの？」——確かにそうですが、「ただ飲むだけ」ではないのです。患者さまのからだの中で起きている、様々な矛盾は何か？を患者さまとともに考えていくわけです。これが、未病の治療なんですね。ご本人はそうと気づいていなくとも病（やまい）は既に成立している、しかし西洋薬を使うべき目的がはっきりしない、このような病態は漢方外来の腕のふるいどころです。

「検査ではどこもどうもないんやけど、何でこんなに調子が悪いの？」——さあ、ここからです。私たちは、いつも患者さまと一緒に歩んでゆきたいと思っています。ですから、私たちが患者さまの訴えをしっかりと受けとめて、その中の「未病」の部分は一体何か？を的確に把握し、患者さまとともに共同作業で治療を進めると、「漢方薬って本当にいいですね」ということが理解していただけたと思います。どうぞ、よろしくお願いします。

漢方外来 (問) 総合診療部 077-548-2770	
診察日	毎週金曜日(午後)・予約制
診療内容	漢方医学的診察に基づいて患者さまの状態を診断し、最適な漢方薬を用いて治療を行います。
申込方法	総合診療部の受付にて予約してください。
担当医	三谷 和男(京都府立医科大学東洋医学講座助教授)

肺炎球菌ワクチンの予防接種について

呼吸器内科 科長 中野 恭幸



日本全体で肺炎によって1年間に約10万人の方がお亡くなりになっています。これは、悪性新生物(がん)、心疾患、脳血管障害について死因の第4位です。特に65歳以上の高齢者で死亡率が高くなっています。肺炎の原因としては、「肺炎球菌」という細菌によるものが最も多いと言われています。最近では、抗生物質の効きにくい肺炎球菌も増えてきているため、予防が非常に重要となります。

肺炎球菌ワクチンは、この肺炎球菌による感染症を予防するワクチンです。このワクチンにより、肺炎球菌による感染症の約8割に効果が期待できます。また、1回のワクチン接種で5年間ほど免疫が続くと言われています。インフルエンザにかかると肺炎になりやすいので、インフルエンザワクチンと肺炎球菌ワクチンの両方のワクチンを接種することで、より高い肺炎予防効果が得られます。ただし、このワクチンを接種したからと言って、すべての肺炎を予防できるものではありません。

本院でもこのワクチン接種を始めました。肺炎球菌ワクチンは健康保険の適用外ですので、接種に8,400円が必要です。詳しくは、主治医、あるいは、呼吸器内科にご相談ください。

本院に災害派遣医療チーム(DMAT)結成

救急集中治療医学講座 助手 田畑 貴久



地震や竜巻などの天災や、航空機事故や鉄道事故などの大規模災害が起こったときに、被災地に迅速に駆けつけ、現場で救急医療を行ったり、被災地近隣の病院での治療能力を越えた方を、治療能力がある遠方の病院に搬送したり、災害現場近隣の災害拠点病院の医療支援を行ったりするために結成された医療チームが災害派遣医療チーム(DMAT)です。

1チームが5名で構成され、今後数年で全国に数百チーム出来るように養成が行われています。当院から、医師2名、看護師2名、事務担当職員1名からなるチームがDMAT隊員養成研修に参加しました。チームごとに、指定時間までに指定場所に必要な医療資材を持ったうえで独自に集合し、それぞれのチームが連携を取りながら有効に活動するための訓練と試験が行われ、当院のチームは全員修了試験に合格しました。今後は実際の出動に備えて準備を行い、出動要請があった場合には活動出来るようにしていく予定です。



病院再開発の進捗状況について

病院再開発推進室 専門職員 國友 陵一

平成18年2月に着工しましたD(新)病棟建設工事も天候に恵まれ、どんどん鉄骨が積み上がり、その全貌が明らかになってきました。かなり大きいという印象を受けておられるのではないかと思います。入院患者さまも病棟廊下窓際より、建築風景を眺めながら休憩されている姿がよく見受けられます。

D(新)病棟は、平成19年8月末に竣工予定であり、新しい機能を持った患者満足度の高い病棟をめざし、鋭意検討を重ねています。

患者さまをはじめ、家族の皆様方には、大変ご不便、ご迷惑をおかけしておりますが、ご不便等最小限にする努力を行ってまいりますので、何卒特段のご容赦、ご協力のほど、お願い申し上げます。病院再開発事業に関し、ご意見・ご提案等ございましたら、病院再開発推進室までお申し出くださいますようお願い申し上げます。

◇ 病院再開発推進室 077-548-2954 (直通) ※ご意見箱もご利用下さい
hqsaikai@belle.shiga-med.ac.jp



患者さま食堂・デイルームイメージ



病室イメージ



医療福祉相談のご案内



地域医療連携室 医療ソーシャルワーカー 上山崎悦代

当院では、患者さまの療養に伴い生じる様々なご心配事に関して、医療ソーシャルワーカーが、医療福祉相談をお受けしております。

私たちは、社会福祉の立場から、患者さまの経済的、社会的、心理的な悩みについて、問題解決のお手伝いをしています。例えば、医療費の支払いが心配になることもあるでしょうし、退院したあとの暮らし向きが気になることもあると思います。そのような時、どのような制度があるかご紹介をしたり、転院や施設に関するご説明をしながら、患者さまやご家族の方と一緒に考えて、問題解決を図ります。また、地域の医療・保健・福祉機関等と連絡を取り合いながら、患者さまの社会復帰や在宅療養のお手伝いもしています。

急な病気や怪我でご不安も多いかと思しますので、わからないこと、知りたいこと等がありましたら、お気軽にご相談ください。相談は無料で秘密は守られます。場所は、病院玄関入ってすぐ右手にある「患者様相談窓口」です。



医療福祉相談	
曜日	月～金（祝祭休日、年末年始を除く）
時間	午前8時30分から午後5時まで

直接ご来室いただくか、主治医や看護師等、病院スタッフにご相談ください。入院されている患者さまの場合には、病室にうかがうこともできます。

院外処方せんへのご協力をお願い

薬剤部 部長 山路 昭

本院では国の施策である医薬分業推進のため、院外処方せんを発行しています。

医薬分業の目的は、医師と薬剤師がそれぞれ専門家の立場から処方せんをチェックすることにより、薬をより安全に使用してもらうことです。街の薬局では十分な薬の説明や服薬指導が受けられ、薬歴管理による重複投与や相互作用のチェックも受けられます。また調剤の待ち時間の短縮も可能となります。

なお、患者さまのご要望があれば、薬の値段(薬価)の安い後発医薬品（ジェネリック医薬品）を院外処方せんにおいて選択できますので、主治医にご相談下さい。

院外処方せん推進へのご理解とご協力をお願いいたします。



滋賀医科大学医学部附属病院 理念

「信頼と満足を追求する全人的医療」

滋賀医大病院ニュース第13号

編集・発行：滋賀医科大学広報委員会
〒520-2192 大津市瀬田月輪町
TEL: 077(548)2012(企画調整室)

過去の滋賀医大病院ニュース(PDF版)はホームページでご覧いただけます。

●理念を実現するための 基本方針

- 患者さま本位の医療を実践します
- 信頼・安心・満足を与える病院を目指します
- あたたかい心で最先端の医療を提供します
- 地域に密着した大学病院を目指します
- 世界に通用する医療人を育成します
- 健全な病院経営を目指します